

令和5年3月31日

長門市議会議員 南 野 信 郎 様

長門市議会議員

ひさなが 信也



政 務 活 動 費 収 支 報 告 について

長門市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第5条第1項の規定により、下記のとおり令和4年度政務活動費収支報告書を提出します。

記

令和4年度政務活動費収支報告書

1. 収 入 政務活動費 90,000 円
(令和4年4月分～令和5年3月分)

2. 支 出

科 目	金 額 (円)	主たる支出の内訳
調 査 研 究 費	0	
研 修 費	0	
広 報 費	86,120	議会報告書作成 86,120円
広 聴 費	0	
要請・陳情活動費	0	
会 議 費	0	
資 料 作 成 費	0	
資 料 購 入 費	0	
人 件 費	0	
事 務 所 費	0	
合 計	86,120	

(注)領収書等の証拠書類の写しを裏面に添付すること

3. 残 額 3,880 円

領 収 証

No. _____

ひさなが信也 様

4 年 8 月 18 日

★ ¥ 4,560 -

但 議会報告書作成費として

上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等 (%)

長門市東深川 2672-2

要若 梓 著

領 収 証

No. _____

ひさなが信也 様

4 年 11 月 17 日

★ ¥ 4,560 -

但 議会報告書作成費として

上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等 (%)

〒759-4101

長門市東深川 2672-2

要若 梓

領收書

ひさなが 信也

御中

発行日

2022年8月12日

下記、正に領収いたしました。

件名： チラシ制作費

田中制作所

758-0063

山口県萩市山田505

TEL :

E-Mail :

担当者：



合計金額	¥38,500	(税込)
------	---------	------

支払方法：銀行振込

Fin

No.	摘要	数量	単価	金額
1	チラシ制作費 (デザイン・印刷代)	1	35,000	¥35,000
		(1,300部)		
		小計	¥35,000	
		消費税	¥3,500	
		合計	¥38,500	

備考	
----	--

領 収 書

ひさなが 信也

御中

発行日

2022年11月7日

下記、正に領収いたしました。

件名： チラシ制作費

田中制作所

〒758-0063

山口県萩市山田505

TEL：

E-Mail：

担当者：



合計金額 ￥38,500 (税込)

支払方法：銀行振込

No.	摘要	数量	単価	金額
1	チラシ制作費 (デザイン・印刷代)	1	35,000	¥35,000
		(1300部)		
			小計	¥35,000
			消費税	¥3,500
			合計	¥38,500

備考	
----	--

日々の活動記録

晴々で、日頃何してるの？」この疑問は、僕もよく思っていました。
議員さんだから、議会で発言や審査をするのは当たり前！！
それ以外の活動の一部をご紹介します！

公園といえば、ひさなが！

令和3年12月定例会にて、「市内の公園」をテーマとして一般質問をしました。
その後、「公園と言えはひさながだろう」ということで、公園や遊具のことについて
多くのお話を聞かせていただくようになりました。中でもやはり多いのが、遊具の
安全性についてです。ご相談をいただいたら、すぐに現地確認を行います。
その後、担当課へ連絡し点検等の対応をしていただきます。
事故は起こってからは遅い「あれ？」と思ったらすぐにひさながまでご連絡ください！

紫陽花の澤、復活に向けて！



「紫陽花の澤」という場所があるのをご存知ですか？通へ行く途中にあるのですが、
実は僕も知りませんでした…。市民の方から「紫陽花の季節にその場所を通るのが
楽しみなんだが、最近あまり手入れがされていない」というお話を伺ったので、そも
そも管理者は誰なのかということも含めて調査を行いました。ずいぶん昔に整備され
たもので、管理体制そのものも曖昧だったのですが、地域の有志の方々方がきれいにさ
れてきたことでした。来年に向けて、僕も地域の方と再整備に取り組んでいけれ
ばと思っています。

わんぱく相撲長門場所開催！

5月15日、わんぱく相撲長門場所が開催されました。
僕が所属する長門青年会議所はこの事業にとっても関りがあり、今回は
僕自身が担当者ということで、様々な準備に携わらせていただきました。
たくさんのお子たちが一堂に集まり、ドラマチックな名勝負を繰り広げ
ました！子どもたちがのびのびと楽しめる事業に今後も積極的に関わって
いきます！

「お困りごとはありませんか？」

日頃の生活の中で、誰に、どんな風に相談したらいいかわからない…そういったお困りごとはありませんか？
最近ですと、通学路に関する件、空き家に関する件、ごみステーションに関する件、観光地にかんする件など
多くのお悩みやご意見をいただいています。すぐに解決できることもありますし、もちろんそうでないものも
あります。しかし、そのままにしておいても解決することはありません。まずは、ひさながにご相談ください。
ご意見をお聞かせください。



こちらのQRコードを読み取っていただければ
簡単にメールが送れます！

TEL 090-8713-9594 メール

ひさなが
信也

若さで全力疾走！！

議会報告 vol.5

～今回のテーマ～

「長門市駅周辺のまちづくり」

長門市駅周辺は長門市の中心街であり、
活性化を図っていかねばならない地域！
市民の皆様からお聞きした声やご意見を、
一般質問において質問しました！

①JRの今後はどうなるの？

②観光案内所の有効活用を！

③旧ウエーブはどうなるの？

詳しくは中面へ！！



2年目の定例会が始まりました！

昨年4月に皆様にご選んでいただき、議員として日々全力疾走してまいりました。

1年目では様々なことを経験させていただきました。年4回の定例会では、
欠かさず一般質問を行い、委員会でも質疑や討論を積極的に行いました。

2年目はその経験をともに、皆様にもっと寄り添い、皆様の生活がより
良くなるよう、昨年よりも質の高い全力疾走をいたします！

長門市駅北口編

1 JRの今後はどうなるの？

令和4年4月11日にJR西日本より、路線別の経営状況などの資料が開示されました。長門市においては山陰本線、美祢線という通学や生活に欠かせない路線が赤字路線だということが明らかになり、市民の方から不安の声が聞かれています。



路線や減便になったら子ども通学をどうすればいいのだろうか？

路線や減便によって長門市域周辺が窮乏していくのではないかな？



両路線の維持・確保については、本当に真剣に考えていかなければいけない。利用者が減ってきている事実はあるが、ここで路線なんていうことになれば、長門市の人口減少に拍車をかけてしまう。沿線各市、県と連携を図り、路線の維持・確保に向けて動かなければならない。関係各所と情報共有を図りながら、市民の方々へ必要な情報を発信していただきたい。地域の方々の生活においても、長門市中心市街地の活性化のためにも、美祢線、山陰本線が運行し続けることは大切！

長門市の考えはいいかな？

美祢線、山陰本線の両線は、生活路線、観光路線としての役割を含め重要な公共交通機関だと認識している。今後、国において様々な検討がなされ、一定の方向性が出される見込みとの情報も入ってきていることから、市としては国の検討状況をしっかりと把握し、沿線自治体と連携して利用促進や利便性の向上に資する取組を推進していくことにより、路線の維持・確保に向けて全力で取り組んでいきたいと考えている。

路線の維持・確保に向けて利用促進というのは一つの大切なキーワード



2 観光案内所の有効活用を！

長門市には有数の観光地があり、そのどこでも行政・民間問わず観光客をおもてなしをする工夫がなされている。長門市駅はそういった素晴らしい観光地への入り口の一つ！地域の活性化を図る上で交流人口が多くなることは当然重要であり、それこそが利用促進にもつながる。つまり観光客の入り口について、もっと充実を図るべき！



長門市駅の観光案内所は、昭和時代に当時の観光協会へ人員配置の要請があったため、現在のトイレ付近に案内所が設置され運営されていた。

その後、観光客が増える見込みがあったこと、加えて老朽化した駅のトイレ改修を検討していく中で国の補助金を活用する要件が情報発信機能併設した交流拠点の整備であったことから、市がトイレ改修と観光案内所機能の駅構内への移転設置を行った。



長門市の入り口の一つである駅構内の観光案内所は、観光客の方にとって長門市での時間を有意義に過ごしていただくための施設であるべき！市が整備したのであればなおさら、おもてなしの心が伝わるような施設であるよう努めていくことが必要！長門市の見解はいいかな？

満足度の高い充実したながと時間の創出を実現するためには、観光地の魅力創出と情報発信の強化を図っていくことが重要。玄関口である長門市駅で欲しい人が欲しい情報を受け取られ、スムーズな長門市内観光につながるよう、観光コンベンション協会と連携し、おもてなしの気持ちを持って案内機能の充実を図っていききたい

長門市駅南口編

3 旧ウェーブはどうなるの？

昨年9月定例会の一般質問でも取り上げたが、旧ウェーブ周辺再開発について、現在市が把握している状況は？



昨年9月定例会の際にも、同様の質問があったが、基本的な状況に変化はなく、現時点において具体的な検討の経緯や進捗状況については把握していない。

再三報じられてきたウェーブの再開発だが、市が示しているとおと、まだ方向が定まっていけない。それにもかかわらず、ある事業者の方は「あなたのところから立ち退きを決めているから計画が進まないのじゃないか。もう事業を諦めるのか。コンビニができるからあなたの店舗は目立たなくなるね。道路が開通されたら、あなたのお店に行きにくくなるな」こんな言葉をかけられている。

市民、特に近隣の方は心配や不安がすごくある。だからこそまちづくりミーティングを行うべきだと昨年申し上げた。きちんと市民と向き合って、市長自身の耳で悩みを聞いて、市長の言葉で現状を伝えるべきではないか。

昨年9月の一般質問でまちづくりミーティングを実施していくという回答は頂いております。まちづくりミーティングをいつ実施するか。市の見解はいいかな？



駅南口を対象としたまちづくりミーティングについては、ウェーブの跡地利用に関する問題等もあるので、そのタイミングについてはしっかりと図っているところ。時期については担当課のほうでしっかり調整していきたいと思っている。

お知らせ

1 ブログを始めました！

令和4年4月からブログをはじめました！

議会での審査内容や質疑内容はもちろん、日々の活動や、地域の方と関わったことなど、内容はかなり多岐に亘ります！

様々な角度から長門市を見て、聞いて、感じて、そして自分がどう考えてどう行動したのかをリアルタイムでお届けできるように努めてまいりますのでぜひご覧ください！



ブログはこちらから

2 名刺をリニューアル！

「ひさなが信也」ってこんな人です、こんなことを考えています。

なぜならこんな人生を歩んできたからです！というのを、もしご興味あれば読んでいただければわかるものを作りたい、情熱をお伝えしたい！という思いから、このたび名刺のリニューアルを行いました。ぜひ、ご一読いただければ嬉しいですよ！



日々の活動記録

「議員って、日頃何してるの？」この疑問は、僕もよく思っていました。議員さんだから、議会で発言や審査をするのは当たり前！！それ以外の活動の一部をご紹介します！

金子みすゞ記念館を見学！

9月定例会補正予算では、金子みすゞ記念館の空調設備に係る補正予算が計上されました。現状がどういったものなのか、調査も含め、金子みすゞ記念館をゆっくり見学してきました。空調の不具合で、特に夏場は来館者の方がゆっくり楽しめない状態があったそうです。歴史的な資料はもちろん、金子みすゞさんの優しさあふれる詩に触れることのできる貴重な記念館であり、今後より多くの方に触れていただけたことが大切ですので、空調設備が、早期に改修されることを望みます。



白線の補修が完了！

以前、長門市駅南口の市が管理する土地の白線がほとんど見えて危ない、という声を市民の方からいただき、補修していたところ、市に働きかけられました。先般、補修が完了したというご連絡をいただき、現地を確認すると、白線がきれいに引き直されていました。駅周辺ということで学生や、高齢者の方々もよく通る場所、早期に対応していただけたことにより、しかし、こういった箇所は市内のあちこちにあることが予測されます。もちろん行政としても目を光らせながらその都度補修作業に取り組まれています。市民の皆様からの声により発見できる箇所も少なくありません。そこが市の管理なのか県の管理なのかということはありますが、危険な箇所や補修することが望ましい箇所をみつければ、ひさながまでご一報いただけたら幸いです。



ひさなが信也のプロフィール

平成3年2月19日生まれ。長門市立深川小学校、深川中学校を卒業。その後、山口県立大津高等学校（現：大津緑洋高等学校大津校舎）に入学。3年間ラグビー部に所属し、3年時にはキャプテンとして花園出場を目指す。卒業後は家業である、理容師の道に進む。2019年には全国理容競技大会にも出場するなど、理容師として一生涯を過ごすものだと思っていた。しかし、その傍らで「長門青年会議所」や「ぼくらの長門」という団体で地域の活性化に取り組んできた。「ながとスポーツフェスティバル2019」や「ながとハロウィン」など、この地でしかできない新規事業の中心メンバーとして様々なイベントや経験をを通して、改めて長門市の魅力に気づく。この長門市という誇るべきふるさとにもっと真剣に向き合いたい、子どもたちにもこのふるさとを素晴らしい形で残していきたい、という思いが強くなり、令和3年4月の長門市議会議員選挙に出馬し、皆様のおかげをもって当選。「若さで全力疾走！」をモットーに活動中。



「お困りごとはありませんか？」

日頃の生活の中で、誰に、どんな風に相談したらいいかわからない...そういうったお困りごとはありませんか？最近ですと、通学路に関する件、空き家に関する件、ごみステーションに関する件、観光地にかんする件など多くのお悩みやご意見をいただいています。すぐに解決できることもありますし、もちろんそうでないものもあります。しかし、そのままにしておいても解決することはありません。まずは、ひさながにご相談ください。ご意見をお聞かせください。

TEL 090-8713-9594 メール



こちらのQRコードを読み取っていただければ簡単にメールが送れます！

ひさなが
信也

若さで全力疾走！！

議会報告 vol.6

～今回のテーマ～

「長門市の文化財を守ろう！」

.....
長門市には 90 件の指定文化財があります。
これらの文化財を未来に繋げていかなければ
なりません。

今回は特に、「無形民俗文化財の未来」に
ついて、一般質問の中で質問しました。

①後継者問題はどのような？

②活動費の増額を！

③もっと文化財の発表の場を！

詳しくは中面へ！！

ひさなが 信也



9月定例会は内容が盛りだくさん！

皆様こんにちは！長門市議会議員のひさなが信也です！暑い暑い夏を越えて、秋がやってきましたね。さて、長門市議会では9/9より、令和4年9月定例会が始まりました。今回も補正予算や条例、令和3年度の決算など、審査事項が盛りだくさんです。もちろん、今定例会も一般質問に登壇しました。今回で6定例会連続での一般質問登壇となり、皆様のお声を少しでも市政に反映できればと思います。

文化財ってどんなもの？長門市にはどれくらいあるの？

文化財とは、人々の生活や風土との関わりの中で生み出され、文化的価値が広く認められたものです。長門市には、現在、90件の指定文化財があります。

文化財は地域の方々が大切に守ってきたものであり、これからのその文化財を継承・保存していくことは、現代を生きる僕たちの重要な役目！9/1に「ヒストリアながと」がオープンし、そこでは様々な資料の閲覧が可能。今回の一般質問では特に、無形民俗文化財の継承・保存に注目！

無形民俗文化財ってどんなもの？

長門市の無形民俗文化財は、赤崎神社楽踊や滝坂神楽舞など計11件あり「国民の生活の推移の理解のため欠くことのできないもの」とされています。

無形民俗文化財は、それぞれの地域において、先人たちの愛情とたゆまぬ努力により、長きにわたって守り伝えられてきました。



当然、無形民俗文化財はこれからも継承・保存をしていかなければならない。各地域では保存会の方々で継承・保存をされているが、様々な課題がある。課題解決に向けて、行政としてどのような支援が可能だろうか……。

課題①

メンバーの高齢化、後継者問題

ある調査によると、「10年後保存会が継続できているかどうか」の問いに「できている」と回答した保存会が13件中、わずか2件でした。それほど、後継者問題は深刻なのです。



後継者問題という課題について市はどのように考えているか。

深刻だと考えている。それぞれの保存会の活動は、一定の地域の方々の参加により保存・伝承活動が行われていると思う。担い手が不足していることなどの理由により活動を続けることが出来なくなっている保存会もある。

全国的な事例を紹介することなどを含めた、存続に向けた働きかけを行っていきたい。



各地で守られてきたもの、そのものが文化であり、一概にこうすればよいという結論を出すことは簡単ではあない。まずは市内各地の保存会と行政が定期的に話す場を持ち、各保存会が置かれている状況、課題を整理し、市と保存会がそれらを共有することが必要だと考えるが、市の見解はどうか。

保存会の方々の地域に対する思い、継承のための活動の在り方も様々であると考えている。市としても、市と保存会が課題を共有することが大切であると考えており、今後、各保存会の思いを直接聞かせて頂く機会づくりを構築していく。

課題②

活動費の支援について

無形民俗文化財や、伝統芸能では衣装も大切な文化です。しかしながら、その修繕にかかる費用などは決して安くはありません。少しでも補助金の増額など支援があると保存会の活動もやすくなるのではないのでしょうか。



保存会の活動費は厳しい状況であり、市の支援を求める声を直接聞いている。市が直接補助している文化財保存会活動費補助金の増額は考えられないか。

道具や衣装の修繕にかかる経費については、多くの経費がかかると聞いている。市が交付している補助金額については、増額することの予定はない。前々からの、修繕や備品等にかかる助成は、民間企業や公益財団等による助成制度の活用を促していくという方針は変わっていない。



保存会の実情をもっと理解してほしいと思う。国や民間の補助申請手続きに関しては、しっかりと市が申請書の作成などは手伝い、連携して欲しい。

課題③

発表の場が減少してきている

新型コロナウイルスの影響もあり、発表の場は減少している。無形民俗文化財や伝統芸能はやはり、披露されてこそ輝くという一面もある。



有識者からは、「民俗文化財は保存・継承すべき貴重な財産であり、保存会への予算額と発表の機会を増やすこと等により、継続の機運を高めていくことが必要であろう」と言われている。市はこの意見をどう受け止めているか。

保存会によっては小学校、公民館等が連携し、民俗芸能の継承、発表の場を設けている例もある。しかし、新型コロナウイルスの影響で大きく、感染防止の観点から、練習や公開の中止、実施方法の縮小をされている。そうしたこともあり、まずは、各保存会の皆様のお話をしっかりと聞かせていただいた中で今後の対応を行っていきたいと考えている。

保存会の皆さまへ

今後、保存会と行政が話し合う機会、保存会の皆様の思いを直接聞く機会を市が構築していくことと思います。その機会が訪れたときには、どうか遠慮なさらず、保存会の活動について、運営費について、文化財への思いについて、しっかりと話し合ってくださいと思います。そこから、長門市の文化財行政が発展していくことがありと思っています。よろしくお願いたします。僕自身も、力になれることがありまして積極的に働きかけます！

僕にとつての無形民俗文化財

僕の住んでいる、藤中自治会において、子どものときから「楽踊り 月の前の俵楽」に触れて育ってききました。隔年の受け持ちではありますが、受け持つ年の夏休みの終わりはワクワクしたのを覚えています。楽踊りの練習を公会堂でするときに、自治会内の同級生はもちろん、上級生や下級生、地域の方々が踊りの指導をしてくださったり、炊き出しを準備してくださったり、まさに地域がひとつになっているのを感じました。本番ではない、練習だけののに「これからお祭りが始まるんだ」と、胸が高鳴りました。日数が多いとは言えませんが、しっかりと練習して本番に臨むわけですが、実際に楽舞数に足を踏み入れると、そこは練習とは全く別の世界でした。踊りを奉納する自分、上級生、下級生、地域の方々、ここまでは練習と同じですが、その奉納を見に来て下さるたくさんの方々、そして、楽舞数という場所がそろって初めて、無形民俗文化財として完成するのだと感じました。踊りそのものを継承・保存していく立場の保存会の方々だけでなく、その踊りを見学する市民の皆様、市外の方々、そして継承・保存を支援していく立場の行政。これらのどれが欠けても真の無形民俗文化財の継承・保存にはならないのだと思います。先人たちが築いてきた文化は、もう地域の枠を出て、長門市の大切な財産となっています。全国どこを探しても同じものは存在せず、まぎれもなく Made in Nagato だと言いたい。この宝物を、僕たちは未来に繋げていく義務があると感じています。

